

昭和21年7月10日第3種郵便物認可



# 田辺工業が5位

## 近畿高校体操大会

男子団体

近畿高校体操競技選手権大会(近畿高体連など主催)が13、14日、大津市の滋賀県立体育館であり、田辺工業が男子団体で5位に入賞した。

男子団体には2府4県から15校が参加した。各校4人が6種目を演技し、それぞれ上位3人の得点を合計して順位を決めた。

田辺工業は後半の平行棒や鉄棒でミスが出てしまったが、ゆかや跳馬では40点を超える点数を付けた。総得点は2335・2500だった。

3年で団体チーム主将の長坂朋弥君は「詰めの甘さがあったが、入賞できたのは周囲の応援があったからこそ。8月のインターハイで6位以内に入るためには、得点できるところでぎっちり稼げるような演技をしないとけない」と気を引き締めていた。

長坂君以外の団体メンバーは次の皆さん。

3年 佐々木侖緒▽2年 筒井宏樹、山本開、横山秀也

△ 近畿大会の団体で5位に入賞した田辺工業のメンバー。前列右から長坂朋弥君、山本開君、横山秀也君。後列右から佐々木侖緒君、高田佑貴君、筒井宏樹君

▽1年 高田佑貴

◇ 田辺工業の個人種目での入賞はなかった。

団体の優勝は259・800で清風(大阪)。準優勝は

245・200の大成学院大(同)、3位は241・950で洛南(京都)だった。和歌山北は10位(203・050)、和歌山工業は14位(145・800)。